

令和 5 年 5 月 29 日

2023 年度 学校関係者評価委員会 議事録

【目的】

自己点検・自己評価の結果や意見やご提案を頂き、学校改善・改革に繋げる

【日時・場所】

令和 5 年 5 月 29 日(月) 10:00~12:00

福岡ベルエポック美容専門学校 4 階 401 教室

【学校関係者評価委員】

高校関係者 山本 美加 様 (宇美商業高等学校 校長)
業界関係者 松田 秀則 様 (Daisy 代表)
矢田 綾香 様 (一般社団法人 日本化粧品検定協会 顧問)
地域関係者 春山 大輔 様 (大浜自治協議会 大浜祭り委員会委員長)
保護者代表 橋本 寛子 様 (ヘアメイク科 2 年生保護者)
卒業生代表 溝上 真 様 (美容師科卒業生/ELIN 代表)

【本校委員】

学校長	田中 浩一
事務局長	佐藤 誠
教務部長	望月 健司
事務部長兼広報センター長	成本 佳樹
キャリアセンター長	川畑 誠
ヘアメイクビューティ学部学部長	水谷 将也
美容師科学科長	加藤 真也
ヘアメイク科学科長	岩永 宙也
ブライダルヘアメイク科学科長	柴田 薫
トータルビューティ科学科長代理	古閑 亮一

【議事内容】 進行：成本

1. 開会のあいさつ：田中学校長

ご意見いただいた内容をカリキュラムに反映させていきたい。

コロナ5類に移行前は、オンライン ITC 教育が加速した。

今後も ICT 教育,DX 社会を加速していかなければならない。美容業界も変化していく。

高等学校も ICT 教育が進んでいく。

美容とデジタルをキーワードに、ビューティ WEB デザイナー科を設立。

「リーフ」・・・美しい教育。新しい美容の価値を創り出していきたい。

2. 委員会メンバー自己紹介

※学校関係者評価委員参照

山本学校長

本校は60周年を迎えた商業高校である。卒業生 15000 人。

最近、6割強が専門学校含み進学している。

春山様

地域の代表として参加させていただいております。

松田様

3店舗サロン運営している。引き続き、天神と学校との懸け橋になればと思います。

溝上様

3期生卒業 天神今泉でサロン経営している。

学校や地域の方々との意見交換でき良い機会を頂いている。

橋本様

ヘアメイク2年保護者

いろんなご意見を頂けると幸いです。

矢田様

文部科学省認定 化粧品検定 58万人を突破した。

受験し先日、全国の都道府県にて化粧品検定試験が終了。

化粧品の知識や学びを提供できればと思います。

3. 委員会の目的：佐藤局長

※学校関係者評価委員会（会議資料、Keynote 参照）

コロナ禍で4年間過ごしてきた、5類に移行しコロナ前の日常が取り戻せている。
今年度、入学式・卒業式は、保護者様の人数制限がなくなる予定。
昨年度の振り返り（別紙会議資料参照）で各委員の方々に評価して頂き、
カリキュラムに反映していきたい。

目的：学校が継続的に運営できる為の会議である。

教育水準を高め、質の保証、担保に連動している。

本校が自己点検の評価会議を開催し評価しました。

委員の皆さまから評価を頂きたい。

健全運営を図っていきたい。

業界連携を図り、教育（学生を育てる）し、保護者様、高等学校、地域の方々と
連携を図る。

全国7割近くの学校が、職業実践専門課程認定されている。

専門学校が強みは産学連携（業界）と共に成長していく。

本校4学科（美容師科・トータルビューティ科・ヘアメイク科・
ブライダルヘアメイク科）が認定されている。

企業との連携し業界授業、養成施設研修会へ参加している。

事業計画やカリキュラムに反映、修正の流れとなる。

学園では、5年ごとに長期スパンで物事を考えている。

（五か年 重点目標）

1. 志願者 NO1
2. 進級率 95%
3. 専門就職
4. 1年以内離職率 10%以内

（5カ年達成状況）

- ・進級率 83%
- ・専門就職 100%
- ・離職 14%（ミスマッチが問題）
- ・入学者 313名（総学生数 555名）
- ・年度内就職希望者内定 100%

<2022 年度重点ポイント>

就職学年在籍：217 名

就職希望者：158 名（内定：158 名）内定率 100%

昨年度：169 名（96.6%）

川畑：進路変更が理由で専門職就職に就かなかった。

営業力、技術が必要でハードルが高かった。

ヘアメイク科卒業後の国家資格取得に向けて、資格取得後に就職活動の学生も半数いる。

在学中に就職内定できるように就職支援に取り組んでいる。

佐藤局長

・専門課程の入学者確保

・教育の質の向上（企業コラボ、業界ゼミ）

「最新の美容を学ぶ」をコンセプトに多くの現場に入らせて頂いている。

産学連携を軸に教育をしている。

年間 200 件以上

多い学生では年間 60 件の現場へ参加している。

会議資料 1 項目（理念・目的・育成人材像）

・事業計画を作成し目標設定している。学園の理念浸透。

人材育成も含み学校運営をしている。

会議資料 2 項目（学校運営）

・事業計画（五カ年先と単年度の計画を立て育成人材像と組織運営を明文化している。

・滋慶学園 全校 84 校（大学、専門学校、通信制高校、幼稚園）がある。

会議資料 3 項目（教育活動）

・授業計画書（シラバス）作成し、授業を提供している。

望月：進級率について、課題学科は、美容師科とトータルビューティ科になる。

傾向は、コロナ影響もあるが、クラス内友人関係や目的意識希薄であった。

高校 3 年間コロナ生活を過ごした学生で会った。

会議資料 4項目（学修成果）

- ・第47回美容師国家試験合格率：89.6%
 - ・筆記に関して総合的な判断が必要となってきた為、難易度が上がっている。
- 田中学校長：合格するまで無償でサポートしている。

会議資料 5項目（学生支援）

- ・スクールカウンセラー常駐
- ・滋慶会クリニック設置している
- ・カウンセリング勉強会、進路指導に向けての勉強会
- ・奨学金6割が利用している（ファイナンシャルアドバイザー常駐）
対象学生へ説明会を実施している。
- ・卒業支援、中途退学に課題あり。

会議資料 6項目（教育環境）

- ・コロナ禍の影響で、防災訓練実施が出来なかったため、講習会のみとなった。
- 今年度は、職員・在校生向けに防災訓練実施する。
- 田中学校長：在校生では県外から通学している。通学範囲が広い。

会議資料 7項目（学生募集と受入れ）

- ・法律に遵守した募集をしている。

会議資料 8項目（財務）

- ・情報を開示している。
- ・学校単位で収支バランスを整えている。
- ・財務基盤安定している。

会議資料 9項目（法令等の遵守）

- ・個人情報徹底している。
- ・働き方改革やコンプライアンス、合理的配慮等、行政と連携している。

田中学校長：合理的配慮等、職員一同に周知している。

会議資料 10項目（社会貢献、地域貢献）

- ・地域との連携を強化していく必要がある。
- リレーマラソン、ひとり一花運動など実施させて頂いている。
- 地域に根付いたボランティア活動の活性化を図っていく。

4. 2022 年度自己評価（大項目）内容：佐藤局長

山本学校長

- ・ 口コミ（在校生の満足度）が評価に繋がる。
- ・ ICT 教育・・・高校では検定試験 CBT
- ・ 多様な学生を受け入れて、丁寧な対応をされている。

5. 委員より一言

春山様

今後、産業的に大浜町は発展していく。

サンパレス解体予定。

出向港が 3 倍の面積になる予定。

少子高齢化が問題。

大浜地区の発展をさせていく。

防災、防犯の強化

松田様

離職（仕事のギャップ）や美容以外の知識も必要となる。

お金や保険の知識が身につけていない。

在学中に、お金の使い方の説明会実施してほしい。（リアルな事を伝える）

溝上様

目的と手段が必要。

就職して活躍することが目的であり、活躍するための手段を学ぶことが必要。

憧れを目標、目的に変えられるようにすることが大事。

橋本様

キレイしてもらうことで感動を与えられる。

デイケアサービス、福祉にも関わることで、相手に感動を与えられる。

機会があれば、在校生に体験、経験してほしい。

矢田様

資格取得はキャリアに繋がる。

Z 世代は、転職も視野にいれて転職している。

どのようにキャリアチェンジしていくのが重要。

6. 2023年度の重点目標ポイント：佐藤局長

- ・スタッフ育成（1～3年目）6割を占めている。
- ・専門課程の入学者確保
- ・教育質の向上と企業コラボ（天神・原宿・韓国）との関係づくり、ICT教育

川畑：業界から見た、新人スタッフ状況は？

溝上様：対面でのコミュニケーションよりも SNS を活用してのコミュニケーションが好き、得意とする世代。

デジタルツールを使った世代を受け入れていく必要があると感じている。

松田様：近年 SNS でのコミュニケーションを活用している。

SNS では、伝えたいことを伝えられないこともあるため
中堅スタッフから新人スタッフへ伝えている。

7. 閉会のあいさつ：田中学校長

- ・常に前を向いていく。
- ・目的、目標、基礎、基本をベースに学校運営していく。